

浅科小学校だより

賢 優 健

令和7年2月21日(金)

佐久市立浅科小学校 (58-2102)

いよいよ残り一ヶ月ほどで本年度も終了となります。

2月はPTAの評議員会や連学年ごとの授業参観にもご来校いただきありがとうございました。卒業や進級に向けて役員さんの引き継ぎなどもありましたが、保護者の皆様には引き続き子どもたちの支援にご協力いただきますようお願いいたします。

今年度は春開催となった運動会、秋開催となった音楽会、その他に自転車教室やPTA作業、資源回収など皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、今年度から通知票も前後期制となりました。来年度の個別懇談の時期などについていつが良いか検討をしているところです。

【浅科地区の皆様の温かいご協力に感謝】

佐久市浅科小学校(273人)の児童会は5日、能登半島地震の被災者支援に役立ててほしいと、アルミ缶回収の収益10万円余を市社会福祉協議会に託した。日本赤十字社を通じて現地に届けられる。

体育館で、義援金の目録贈呈式が開かれた。児童会長の6年高野榎馬(しんば)さん(12)は「能登半島地震にとってもショックを受け、悲しくなった。寄付をしたいという思いが強くなった」と述べ、昨年の児童会長選で提案して全校で取り組んだ経緯を説明。環境委員会のメンバーは、昇降口付近にアルミ缶の回収場所を設け、近くの浅科中学校の生徒や地域住民も協力して625キログラムが集まったことを報告した。

目録を受け取った市社協の高橋徹事務局長は「災害はいつ起きるか分からない。お互い助け合う気持ちを大切にしてほしい」と話し、感謝していた。

2 / 6 信濃毎日新聞デジタル版より

昨年度は子どもたちが休み時間などに自由に使えるボール類を購入していたのですが、上記のような目的でご協力いただき、寄付することができました。全校の児童には1kgはこれくらいの量と実物を見せ、これが625kg集まったと発表するとすごい量が集まったんだということが全校の児童にも伝わりました。通常は学校に受け取りに来ていただくことは難しいのですが、子どもたちの頑張りに対応いただき、贈呈式を行うことができました。

保護者の皆様、機会がありましたら、地域の皆様にもお伝えいただけると幸いです。